

No.007 (不定期刊)

"Great Wall" Street Journal

長城街日報

～中国株の現場から～



東洋証券株式会社
上海駐在員事務所 所長
奥山 要一郎
2007年入社。本社シニアストラテジ
スト等を経て、2015年より現職

珈琲時光

先日、「東洋経済オンライン」に、中国の最新コーヒー事情を描いた記事が掲載された。タイトルは「中国ラッキンコーヒー、「スタバ超え」の突破力」というもの。2017年に創業したばかりの「luckin coffee (ラッキンコーヒー)」が開業1年で2000店舗超を展開し、スターバックス (スタバ) のライバルに躍り出た。「買2贈1」(コーヒーを2杯買えば1杯無料)のような破格の販促で人気急上昇。店でも買えるが、客の多くはスマホアプリ経由で注文し、配送サービスを選択する。オフィスでこのコーヒーを飲むのが一種の流行になっている。

★ ★ ★ ★ ★

私も現地目線からラッキン人気を分析してみる。まずは「安さとお得さ」だ。「買2贈1」どころか「買5贈5」など、思わず二度見してしまうような太っ腹のサービスがある。これは他の業種でもよく見られる中国特有の「バラマキマーケティング」。派手な価格戦略を用いて、とにかく初期段階で客の心をつかんでしまおうというものだ。シェア自転車が隆盛を極めたのも、当初は無料か30分1元(約16.5円)などの激安価格設定があったからだろう。

次に「オシャレ感を前面に打ち出している」こと。ラッキンは、台湾出身の俳優である張震 (チャン・チェン) と、映画「ラスト、コーション」でブレイクした湯唯 (タン・ウェイ) をイメージキャラクターに採用。2人とも「実力派俳優」という位置付けで、外面よりも内面を重視するようになった中国の今どきの若者に人気がある。控え目ながらも「味のある」人物といった感じだろうか。



ラッキンコーヒーはデリバリーに注力しているため、店舗は簡単な作りで、席も少ない

さらに「プチ贅沢感を演出できる」ことも人気の背景にあるだろう。前項とも被るが、中国の消費者 (特に若者) はバブリーな成金消費 (見せびらかし消費) から脱却し、内面や内実を重視したスタイルに移行している。価格は安いだけではダメ (ケチと思われてメンツがつぶれるため)。それなりの価格でオシャレ感や最先端感をアピールできる“コスパ”が重要だ。ラッキンはスタバより2割程度安めなので、格好のアイテムになっているのだろう。

最後は「スタバ離れ (疲れ)」。中国ではスタバは高級ブランドの象徴だ。コーヒーの味は分からなくても構わない。とにかくスタバのカップでコーヒーを飲み、それを見せびらかしたい。「私はスタバを飲むくらいお金を持っているのよ」「流行の最先端を行っているのよ」を前面に出し、コーヒーを飲みながらリンゴマークのノートPCをいじっている「中国版意識高い系」がわんさかいる (ホントです)。自己陶醉型の自撮り写真を SNS にアップするのも定番だ。ただ、このような無理強い自己アピールライフに疲れた人も増えているよう。そこにラッキンがうまくハマったのかもしれない。

★ ★ ★ ★ ★

さて、今さらですが、中国人は本当にコーヒーが好きなのでしょうか？ 複数の人に聞いてみたところ、「コーヒーは外で飲むもの」という位置付けのようです。家にコーヒーメーカーを持っている人はほとんどいません。コーヒー文化が根付くのはまだまだ先かもしれませんね。まあ、私もコーヒーについては「ホット」と「アイス」の2種類くらいしか分からないのですが……。

文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

◆ 注 意 事 項 ◆

東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号
 日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入

外国証券等について

・外国証券は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

手数料等およびリスクについて

① 国内株式の手数料等およびリスクについて

・国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2420%（税込み）、最低3,240円（税込み）（売却約定代金が3,240円未満の場合、約定代金相当額）の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 外国株式等の手数料およびリスクについて

・外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8640%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

・国内店頭取引については、お客さまに提示する売り・買い仕切価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い仕切価格との差がそれぞれ原則として2.75%（手数料相当額）となるように設定したものです。当該仕切価格には手数料相当額が含まれています。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

・投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

利益相反情報について

この資料を掲載後、掲載された銘柄を対象としたEB等を東洋証券（株）が販売する可能性があります。

東洋証券（株）および同関連会社、またその役職員はこの資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

この資料は、東洋証券（株）が各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点の見通しであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券（株）は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

なお、東洋証券（株）および同関連会社の役職員またはその家族がこの資料に掲載されている企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

この資料の著作権は東洋証券（株）に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

東洋証券株式会社

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1
 TEL 03 (5117) 1040

<http://www.toyo-sec.co.jp/>

2019年4月17日
 審査部審査済